



『平小唄』贊（上）

白木英尾君に
島田忠夫

の問題が存するであらうと

過日、本紙上で白木英尾思ふ。小生に云はしむれば

君が『平小唄』のことを書かいかに名詩人が乘り出して

れ、最後に愚昧なる小生に作つても、平町附近の唄で

も言及されてゐた。本日平あつたなら、歌詞は別とし

の知人から新聞を送つて呉

れ、謹んで御説を拜讀した

白木君が種々言ふて、居も郷土的哀調を帶びた俚諺

され、小生の意見も憶測さ

れてゐるが、小生は『平小

唄』に何も異論を一切持たぬ。どのやうな選の仕方を識者に笑はるる點は却つて

されても、作者にどのやうな邊にこそあるだらう。

ながらくりがあつても、兎に角平町に小唄の出来たこ

あつて、嘗選した人の爲めにも、むろん祝意を表し

おもふに民謡などは、飛び抜けて好い作ならば長い年間、人口に愛誦され傳承されるのであつて、凡作

などはやがて年月と共に消滅し去るものである。やがてどこでない、現時のまらぬ流行歌映画主題歌のくと、初めて身体の血が相まつてゐる

折角平町に『平小唄』が出来て、町の人たちも喜んで唄つてゐるところに現時行はれてゐる使途又は意味合から幾多ぞやかく非難などの云はねのが好いと思ふ。愈よ問題とすれば『平小唄』の流行を追うて小唄を作るといふ所に現時行はれてゐる石を問ませる事が出来る、意の堅剛なるは成功の一歩である、猛然起つて爲せば向ふ處敵無しである。

時 絶えず己にされば流動体の柔き雨でも堅剛なる石を問ませる事が出来る、意の堅剛なるは成功の一歩である、猛然起つて爲せば向ふ處敵無しである。

行駁日九月十四日

拓華微笑

風葉の露除除 催花の雨今や花

自動車協会の出

なたへなりと買つて進せる

兵の歓迎。迎へを散らすの雨。

唐者のが雨の滞留のが傾城の常ではあれど五

生はやはり喜びだけ表した

まことに申分のないことであらう。

小波先生の如きすぐれた大

家が選考されたとすれば、

まことの如きである。

『平小唄』に就いて小

さへ思ふ。まして、巖谷

が、また半分だ。介

かく戰かんに踊れ

ないと思ふ。まして、巖谷

昭和七年四月十二日

磐城新問

〔日曜水〕

〔二〕六百一三四千四百六號

赫々の武勳を輝かして 郡出身古参兵近く歸る

日下平町で準備を進む

車輪會

若松歩兵第〇〇〇の聯隊所屬部出身古參兵百六十人
名が嚴寒風を駆け北高麗駐留地に於ける足掛け三ヶ月の服務を了し來月三日若松驛に到着し五、六日頃滿期除隊となるので平町では當日全町國旗を掲揚し各學校生徒、官公衛、團体を擧げて驛頭又は沿道に整列して之を迎ふる外に凱旋歡迎會を開催すべく目下役場、軍人會等に於て歓迎方法に就き打合せ中である。

縣白動

けふの總會

花下の大閑遊會

盛り澤山の評定後

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

鶴松

小瀬新壽

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

敬吉

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高谷川

長谷川

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎

磯貝進浦

稻田友治

酒井宗徳

若松小

八

日東紡績工場方

森

下孫次

須賀川佐藤啓次

高野重

伊藤勝二

三本松伊藤興亥

高橋

伊藤佐次

大和田匡康

次郎